

「シンプル+上質=洗練」をコンセプトに  
豪華さの先にある豊かさ、個々にとっての真の豊かさを探求したフラワーデコレーションを提案する

## レフレシール キョウコフジタ

フレンチスタイルの先駆者・藤田京子がパリで師事したフランス・フローラル界の巨匠

ジョルジュ・フランソワがデザインするブーケをレフレシール独占で受注販売開始

～ おうち時間でパリに住まうように花のある暮らしを楽しむ ～



【左】ジョルジュ・フランソワ デザインブーケ例 ※花瓶は含まれません。ブーケは実際のサンプルではありません 【右】ジョルジュ・フランソワ

【2020年9月】デコラトリス・藤田京子(株式会社キョウコフジタ 代表取締役 栗田京子)は、フラワーサロンブティックréfléchir KYOKO FUJITA (レフレシール キョウコフジタ、以下レフレシール) より、藤田がパリでの花修業時代に師事したフランス・フローラル界の巨匠：ジョルジュ・フランソワ (Georges François) がデザインし、藤田がフランソワの意向を汲んで仕上げたパリ感溢れる季節のブーケを、2020年11月よりレフレシール独占で受注販売いたします。フランソワデザインのブーケの販売は、本人以外では初めて、レフレシールの藤田京子のみ認められています。

今回スタートするジョルジュ・フランソワのデザインブーケ・アレンジメントの提供は、フランソワと藤田京子の長きにわたる信頼関係に基づいて実現しました。花の世界において「パリスタイル」を確立し、多くのブランドやパリコレクションなどのフラワーデコレーションを手掛けてきたフランソワの元には世界各地からフローリスト達が修行に訪れます。かつて藤田もその一人であり、フランソワの店でスタジエールとして研修した最初の日本人でした。

今でも対面レッスンはキャンセル待ちが続出する程絶大な人気を誇るフローリストであるムッシュ フランソワ。レフレシール・藤田京子と協働してブーケ・アレンジメントを提供する今回のコラボレーションは、両者にとって初めての試みです。

### ■ パリスタイルを確立したフランス・フローラル界の巨匠：ジョルジュ・フランソワ | Georges François

日本のフラワーデコレーション界におけるフレンチスタイルの先駆者である藤田京子が花修業を志して1988年にパリに渡り、偶然の出会いに導かれて師事することになった人物が、当時既にパリの人気フローリストとして活躍していたジョルジュ・フランソワでした。獅子座のパリ生まれで生粋のパリジャンであるフランソワはユニークな経歴の持ち主です。料理人として働いたり、八百屋で働いた後にフランス軍へ入隊。除隊後、当時パリで最高の花屋だった「Jardin d'Alice」に勤める機会を得たことで花の世界へ入りました。その後独立し、オデオン広場の車寄せで花を売り始め、3～4年後にビュシー通りに「La grange à Buci」を開店。18年後、グルネル通りに「Lilianne François pour fleur à fleur」を、続いてユニヴェルシテ通りに「un fleuriste」をオープン。その後、2008年に「Georges François Fleurs」を開業し、現在に至ります。

イヴ・サン＝ローラン、高田賢三、エマニュエル・ウンガロなどの名だたるデザイナーや多くのアーティストなどの顧客を持ち、パリコレクションやファッションイベントなどの装花から、ISSEI MIYAKE、エルメス、サンローランなどラグジュアリーブランドのブティックや、パリ・オペラ座、ルーブル美術館、オルセー美術館やガストロノミーレストランなどの定期装花まで、アートやカルチャーシーンにおいてフランスを代表する面々を花を通してサポートしてきた実績は、フランソワがまさにフランス・フローラル界の巨匠であることを示しています。

78 歳になった今でも毎日市場に通い、「本当はヴァカンスにも行きたくない」と言って毎日大好きな花に触れながら店で過ごす稀有なフローリストであるフランソワは、現在も高田賢三氏のご自宅の装花を担当し、3 つ星レストラン「ランブロワジー」でも毎週花を活着けています。

#### ■ 藤田京子とジョルジュ・フランソワの出会い

1989 年 6 月、藤田京子がパリ郊外で開かれたフワースクールに参加した際、ジョルジュ・フランソワの義姉であるフランシーヌ・フランソワと偶然出会ったことが二人の出会いを生み出しました。花の勉強をするためにパリに渡り、フランス語学校で学びながら修行先を探していた藤田は、フランシーヌの義理の弟がパリで活躍している有名なフローリストであると聞き、研修生として無給で構わないので自分を彼の花店で雇ってもらえないだろうか、と、まだ拙かったフランス語で願い出ました。そんな藤田の作る花のセンスを認め、また、その強い思いに打たれたフランシーヌはフランソワと藤田の縁を取り持ってくれたのです。スタジエールとしての研修であれば OK と言っていると伝えられ、早速フランソワに電話で連絡してみると、とてつもなく早口の彼との会話はままならなかったのですが、なんとか彼の店に挨拶に伺うことになりました。約束の日、文化人やブルジョワの館や大使館、政府機関が周辺を埋め尽くし、国会議事堂や首相官邸も徒歩 5 分圏内という左岸 7 区の好立地にあった「Liliane Francois pour fleur a fleur」を訪れたその時から、藤田はフランソワの店でスタージュとして研修した最初の日本人となり、師弟関係が始まりました。

1989 年末に藤田が帰国して以降、氏を日本に招聘しデモンストレーション、レッスンを開催、逆に大きなフワードコレーションの仕事があるとフランソワが藤田をパリに呼んだりする交流を続けながら、師を仰いで日々研鑽を積み、藤田はムッシュフランソワからアテスタシオン（Attestation／公証人作成の正式な覚書）を得た上で、日本で「Liliane Francois Japon」を立ち上げることを許されるまでに信頼を得ました。

藤田が日本でフレンチスタイルのフワードコレーションを伝え、フランソワの花の世界を日本で紹介するなど、互いに認め合うフローリスト同志として穏やかな師弟関係が現在まで続いています。

#### ■ なぜ今またジョルジュ・フランソワとのコラボレーションなのか

新しい生活様式を模索しながら過ごしたステイホーム期間に、古いアルバムや資料を整理する時間の中で、パリでの修業時代の写真の中にフランソワを見つけ、「今度いつ会えるのか、日本にもう一度招待する夢は叶わないのだろうか」という思いがよぎった時、「離れていても協働できることがあるのではないか」という思いが勝って沸き起こりました。パリに行きたくても行けない現状であっても、フランソワの花に憧れる方は今なおプロアマを問わず大勢いるのだから、このフランスを代表するフローリストが表現する花の世界を今一度、日本・東京発としてレフレシール キョウコフジタから発信したい、と考えたのです。

また、著作権の無いフローラルアートの世界で残るものは、作品を写した画像であっても感じ取れる作者の個性や生き様そのものではないか、という思いも最近強まっており、フランソワが身をもって表現してきた「働き続けるアルティザンの生き様」を広め、残せるかたちも模索したい、と考えるようになりました。

今回の動画レッスンは、そんな今だからこそ、こんな時だからこそ出来ることなのではないか、という思いによって実現したコラボレーションです。

#### ■ 藤田京子にとってのパリとは

パリは藤田にとって第二の人生を作るきっかけをくれた場所です。感性を呼び醒まし、美意識を培ってくれた場所であり、漠然と憧れていた本物の“Madame”の真髄を見せてくれた場所。そして、レフレシール キョウコフジタが探求する真の豊かさを表現するフワードコレーションの最新コンセプト「re-STYLE」を生み出した、藤田京子の「花の原点」です。

日仏を代表するフレンチスタイルの花の表現者二人のコラボレーションによる、エスプリが効いたシックで華やかな花々が醸し出すパリの空の下に居るような感覚を、日々の暮らしの中でお楽しみください。

###

## ① ジョルジュ・フランソワ デザインブーケ販売 概要

- 内容： ジョルジュ・フランソワがデザインし、藤田京子がフランソワの意向を汲んで細やかに仕上げたパリ感溢れる季節のブーケを月ごとに提案し、受注販売いたします。このフランソワデザインのブーケの販売は、フランソワ本人以外では、レフレシールの藤田京子だけに認められています。
- 価格： 18,000 円（税別）
- 販売期間： 2020 年 11 月～ 毎月 1 デザイン
- 受注開始： 2020 年 10 月 5 日（月）～
- 受注受付： アトリエ レフレシール（広尾）店頭および電話、FAX、メール、オンラインショップにて受付
- 発送： 受注日より最短 2 営業日（週末・休日は除く）で発送可能です。ご希望日にあわせてお届けいたします  
※初回発送は 11 月 2 日（月）より

## [参考資料]



### デコラトリス 藤田京子

「シンプル+上質=洗練」をコンセプトに

豪華さの先にある豊かさ、個々にとつての真の豊かさを探求したフラワーデコレーションを提案いたします

プロフィール：

食空間プロデューサー木村ふみ氏に師事した後渡仏し、ジョルジュ・フランソワ氏に師事。フランスを代表するフローリスト達から指導を受ける。帰国後、「クール・ド・デコレーション・フローラル」を主宰。通算 7 年半のパリ、6 年の京都暮らしを通して得た美意識を花を通して表現。2013 年、東京・西麻布にフラワーサロン「réfléchir KYOKO FUJITA Nishiazabu」をオープン。2015 年 10 月、首相公邸史上初となる公邸玄関の装花を行う。2015 年 12 月、東京・八重洲に 2 店舗目となる「réfléchir KYOKO FUJITA Tokyo」をオープン（～2018 年 12 月）。2016 年 5 月には、日本で開催された G7 伊勢志摩サミット 2016 において来日された G7 各国首脳をお迎えする客室へのウエルカムフラワーおよび首相夫人主催による各国首脳夫人を招いてのディナーでの装花を担当する。2016 年 8 月末、西麻布店を広尾に移し「atelier réfléchir」に改名してオープンし、現在に至る

### 藤田京子の『re-STYLE』とは レフレシール キョウコフジタが探求する真の豊かさを表現するフラワーデコレーションの最新コンセプト

新しい生活様式を模索する中で、藤田京子の「花の原点」、そして「パリで出会った花の原点」に立ち返る機会を得て生まれたコンセプトです。『re-STYLE』とは、根底に通じる、今も変わらない藤田京子のフレンチフラワーデコレーションの「原点」を守りながら、進化し、深化させ、新化させたスタイル。1980 年台後半から 1990 年台初頭に培われた藤田京子の「花の原点」の発想を、新しい豊富な花材・素材を用いて今を表現したフラワーデコレーションは驚くほど新鮮な印象です。

藤田の「花の原点」が醸成された当時は、花の種類は少なく、輸入された花材も品質は良くありませんでした。そんな中で、パリで暮らし、実際に見て感じたフレンチスタイルのフローラルデコレーションという世界を日本の皆さまに紹介したいという思いで、必死に花と向き合い表現していました。時は経ち、今、古いアルバムや資料を整理する時間の中で、そんな時代に作った、今見ると荒削りな、「若いな」と感じる沢山の作品にあらためて向き合うことが出来ました。同時に、当時を知らない若い世代の人たちにとって、当時の発想はとても新鮮に映る様だという発見がありました。そして、1980 年台後半から 1990 年台初頭に培われた「原点」の発想を元に、今の新しい、豊富な花材・素材で作品を作ってみたらどうだろうというアイデアが生まれたのです。

オートクチュールが健在でファッションが時代を牽引していた頃のパリでは、マダムたちはそれぞれのライフスタイルに合うフローリストを持っていて、その時々テーマに合わせて自在に身の回りを花で飾っていました。辛口ファッションのマダムは大きな色気のある花が好きだったり、はたまた、シナモンのようなピリッとエスプリの効いた花が好きだったり、大人の女性でも可愛いものが大好きだったり、パリのマダム達の嗜好は様々です。そんな個性的なマダムたちの嗜好を汲み、その豊かなライフスタイルに想いを馳せてフローラルデコレーションを作り続けた経験が藤田京子の「花の原点」。そんな時代のパリの空気感を、一つのアレンジメントを通して感じ取っていただきたいという思いは、今も変わらず持ち続けています。

パリでの経験を経て、「本当に豊かな暮らしとは何か？」という問いを、花を通して考え、表現していきたい、という思いで西麻布に初めて店舗をオープンし、「レフレシール=よく考える」と名づけました。それからさらに時が経ち、今振り返ってみると、原点は大きく変化することなく、その発想を持ち続けてきたことがよく分かります。レフレシール キョウコフジタは、根底に通じる変わらない藤田京子の「原点」の発想を守りながら今のスタイルで表現する『re-STYLE』のフレンチフラワーデコレーションを提案してまいります。

### réfléchir KYOKO FUJITA | レフレシール キョウコフジタ

「シンプル+上質=洗練」をコンセプトに豪華さの先にある豊かさ、個々にとつての真の豊かさを探求したフラワーデコレーションを提案する藤田京子のフラワーサロンブティックです。

広尾に、生花やサービスブーケの販売とレッスンなどを行うサロンが共存するショップ「atelier réfléchir | アトリエ レフレシール」を有し、プレタポルテとオーダーメイドの双方で生花のブーケやアレンジメントをご用意いたします。これらのブーケ・アレンジメントは、混雑した場所でも花を傷つけることなく持ち帰ることができるオリジナルギフトボックス「ラ ポワット ファシル」での誂えもおおすすめです。

また、藤田京子が独自で輸入したアーティフィシャルフラワー（1 本から購入いただけます）やブリザードフラワーのアレンジメントの他、花器や国内外から仕入れた花に纏わる様々な商品を取り揃えています。その他、ギフトにも使えるシャンパーニュやノンアルコールスパークリングと花をセットにしたスタイリッシュなギフトボックス等に加え、ウエディングブーケ・ブーケトニアなどのオーダーメイド対応も承ります。

#### ■レフレシール キョウコフジタ

ホームページ：<http://www.kyokofujita.com/reflechir>  
オンラインショップ：<http://reflechir-shop.com/>  
Facebook：<https://www.facebook.com/kyokofujita.reflechir/>  
Instagram：[https://www.instagram.com/reflechir.kyoko\\_fujita/](https://www.instagram.com/reflechir.kyoko_fujita/)  
プロモーションビデオ：<https://www.youtube.com/channel/UCVdI6z4IzjnAlUDDIbO5vDw>

#### ■atelier reflechir | アトリエ レフレシール【広尾】

Address: 東京都港区南麻布 5-2-37 ルランビル 1 階  
Tel: 03-3442-8787  
Fax: 03-3442-0087  
Mail: [info@kyokofujita.com](mailto:info@kyokofujita.com)  
営業時間: 月曜日～金曜日 11:00～18:00 / 土曜日 10:00～18:00  
日・祝日 休み（不定休あり）

